

神庭通信

(かにわ つうしん)



平成28年度 校長室だより

第1号 H28. 4. 5



平成28年度、学校の新しい1年が始まりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在校生の皆さん、進級おめでとうございます。

4月5日(火)の入学式では、小学部10名、中学部11名、高等部肢体不自由部門(高A)9名、高等部知的障害教育部門(高B)27名、住吉分教室15名の新入生を迎え、全校児童生徒218名でスタートしました。

新しい環境は、誰でも緊張したりドキドキしたりするものです。不安や心細い気持ちもあると思います。でも同時に、これからの学校生活への期待や目標に向けて、ワクワクする気持ちもあるかもしれません。受け止め方や感じ方は一人ひとり違います。学び方や成長のしかたも一人ひとり違います。焦る必要はありません。まずは学校生活のリズムを作ることで、そして出会う人との関係を築くことです。安心した学校生活に向けた信頼関係が作られると、自分から関わったり学んだりしようという前向きな気持ちにつながります。困ったときには是非まわりの先輩、先生、友達に聞いてください。皆さんと一緒に充実した毎日をご過ごせることを楽しみにしています。新しい一年の始まりが大切な成長のチャンスになり、一人ひとりの世界を広げることにつながり、学びがいつそう深まっていくよう、職員一同努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

中原養護学校はたくさんの木々に囲まれた自然豊かな丘にあります。近くのバス停の「さくらが丘」という名前の通り、春には桜が見事に咲き、すてきな景色に包まれます。四季折々の風景が見られるこの地は、昭和49年学校建設の際に遺跡が発掘されました。この遺跡は「神庭遺跡(かにわいせき)」と呼ばれており、校歌の中にも「遺跡の祖先 なつかしく」という歌詞がでてきます。この遺跡の名前にちなみ、校長室だよりを「神庭通信(かにわつうしん)」といたしました。神庭遺跡については校内の図書会議室に詳しい説明や展示がありますので、ご来校の折にはぜひ一度お立ち寄りください。

さて、昨年度末の3月には多くの教職員の異動がありました。これまで児童生徒の教育活動に力を注いできた教職員へ、保護者の皆さまをはじめ多くの方々から暖かい励ましやエールをいただきました。中原養護学校の伝統を受け継いでいくためにも、時代とともに進化する柔軟性と、発展に向けた広い視野を忘れずに、新たな一歩を踏み出していきたいと思っています。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

片山 由美